



### 「未来に向かってまっすぐに」 松川 大倫(木原)

現在、私は県外の大学に進学しスポーツ健康科学部に在籍しています。現在社会においては、生活習慣病の増加や子供の運動能力の低下などスポーツに触れる機会そのものが減少しています。これらの状況に対して大きく考えられるのが、スポーツを身近に楽しむ場所の減少など、個人の問題ではなく環境問題であると言えます。このような問題を学んでいくうちに私は今、社会において最も大切なことは人と人とのつながりではないかと感じています。今後更に増加していく高齢者社会の中で人とのふれあいはとても大切になると言えます。スポーツや身体活動を通していろいろな人との出会いを大切にし、社会貢献ができたかと考えています。私自身幼いころから続けてきた野球を大学においても部活動として続けています。私にとって野球とは生きがいそのものと言えます。私がここまで野球ができてきているのは、この富合で勝ち負け以上に一緒に汗水を流した仲間との友情があり、楽しさを学べたからであると感じています。大学では練習内容から試合の日程まですべて学生主体で行っています。すべてにおいて責任ある行動力が重要であります。この経験はとても貴重であり、大切にしていきたいと思っています。

しかし、現在私たちを取り巻く環境は厳しく、就職活動も氷河期を迎えているなど私たちに課せられた問題はとても大きいものです。それでも希望を持って責任ある社会人としてこれから成長していかねばなりません。これから待ち受けているであろう壁は高いですが、それをひとつひとつ乗り越えていくことが、これまで育ててもらった方々への恩返しであると思い頑張りたいと思います。若い竹はまっすぐ伸びていきます。それは節目がしっかりしているからだと言われています。私たちはこの成人式という大切な節目を新たに、未来に向かってまっすぐ歩いて行きます。



### 「出合いを 人とのつながりを大切に」 江 朋美(莎崎)

現在、私はケーキ屋さんで働いています。大変ですが楽しく充実した毎日を送っています。多忙ではありますが、後輩もでき仕事の幅も広がり、パティシエという仕事に誇りを持っています。就職して2年目に入り、1年目とは違い社会の厳しさ、仕事の楽しさ、やりがいを日々実感しています。また、実家を離れ1人暮らしを始めたことで、今までの自分の甘さを感じ、家族の大切さ、温かさを感じています。

社会人となり、自分の時間は減りました。しかし、社会に出ることでたくさんの人との新しい出会いや、働くことの喜びを知りました。今日の成人式を一緒に喜んでくれる仲間もできました。自分が作ったケーキでたくさんの人が笑顔になってくれると思うと、毎日の仕事のつらさも吹き飛んでしまいます。お客様の「ありがとう」という一言で元気になります。本日成人式を迎えるに当たり、大人としての自覚を持ち自分の行動に責任を持って社会からも信頼される人になれるよう、精一杯努力していきます。そして今後の人生の中で、人とのつながりを何よりも大切にしたいと思います。そのつながりを通してこの富合町だけでなく、広くつながってたくさんの人たちとの助け合いができる人になります。



### 「一人ひとりの小さな一票を意識して」 上田 裕太(碓江)

二十歳になり選挙権を持つようになりました。今までは、選挙というものを特に意識しませんでした。昨年の参院選で投票して大きく考え方が変わりました。小さな一票かもしれませんが、その一票一票が集まり、今の日本を作っているということ意識するようになりました。また、政治や経済にも目を向けふだんから関心を持つようになりました。

私は今、大学で日本の現状を学び、漠然とではありますが、日本のために何かしたいと思いました。国を構成しているのは、ひとつひとつの地方自治体です。日本全体が良い方向に向かうためには、まず地方の活性化が必要です。そう考えたとき、私の頭の中に浮かんだのは生まれ故郷であるこの富合町でした。自分をここまで育ててくれた故郷に恩返しをしたいという気持ちも湧き起こってきました。私は残された3年間の大学生活で故郷のために、母国のために自分に何が